

GRイメージした
激速MIRA e:S



OPTION

編集部
責任編集!!

SAN-EI
MOOK
ULTIMATE 660GT WORLD Vol.12
2026年2月4日発行



ULTIMATE 660 WORLD GT Vol.12

最新PARTS&
Tune情報満載!!



44G連合軍
S耐チャレンジに挑戦!!

時代を変えた
GBCターボ
セットアップ術



パワー
無限の
快楽
ブース
勃発!!

イジッて楽しい



DAIHATSU自由自在WORLD

仰天チェンジ?
センターシート仕様
製作中



web option
EXCITING CAR WEB MAGAZINE



B

BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。



XERO VS PLUS

コンパクトなヘッドガードを装備した車検対応モデル

XERO VS PLUS・スーパーアラミド製ブラックシェル
グラデーションロゴ(H03GGR)

ブリッド&エディルプの最新情報は、こちら!
<https://brideseats.com>



SAMPLE車両
アルトワークス [HA36S]



アルトワークス
純正シート

アルトワークスは、純正シートでもサイドの張り出しが大きく、下半身のサポート力を高めた、専用デザインのレカロシートが採用されている。しかし、サポート力が高い反面、乗り降りがしにくく、また着座位置はかなり高めでそこに違和感を覚えるユーザーが多い。実際にベースのアルトより座面が15mmほど高く、視点はもちろん、頭上スペースも狭いため、ヘルメットを被ってサーキットを走る時に窮屈感がある。



【フルバケットシート】
XERO VS PLUS

カラー：グラデーションロゴ/ブラック/レッド

価格：FRP製シルバーシェル 15万4000円(グラデーションロゴ)/14万3000円(ブラック/レッド) スーパーアラミド製ブラックシェル 21万2300円(グラデーションロゴ)/20万1300円(ブラック/レッド)



ブリッドの新世代フルバケットシートとなるXEROシリーズの中でも、最もコンパクトなヘッドガードを装備した車検対応モデル「XERO VS PLUS」。定番のZETA(ジータ)シリーズやZIEG(ジーク)シリーズなどもあるが、K-Carでも安心して装着できるモデルはXERO VS PLUS一択となる。写真は推奨のFOタイプのシートレールと組み合わせ約35mmのローポジ化をした状態で、FGタイプと組み合わせれば最大で約80mmのローポジ化が可能だ。



助手席の純正シートと見比べると、ヘッドレストの位置が低くなっていることが一目瞭然！ また、左右のショルダー部分も小ぶりなため、Bピラーとの干渉もなく、アルトワークスを始めとした車内空間に制約のある車種でも装着可能だ。

【リクライニングシート】
DIGOⅢ LIGHT CRUZ

カラー：グラデーションロゴBE/ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE

価格：14万800円(グラデーションロゴBE)/15万9500円(グラデーションロゴBEシートヒーター 付き) 12万9800円(ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE)/14万8500円(ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBEシートヒーター付き)



ヘッドレストの位置を見れば、やはり助手席の純正シートよりも低いことが分かる。また、サイドサポートとBピラーの間隙は、XERO VS PLUSよりも広がっている。絶対的なホールド性より、普段乗りの便利さとローポジ化を両立したいユーザーに最適だろう。



乗降性を最優先したニーサポートとコンパクトなショルダーのリクライニングシートがDIGOⅢ LIGHT CRUZだ。バックレストの大きなサイドサポートと座面中央部が絶妙に沈み込むことにより身体が包み込まれ、面で支えられることでクルマの横揺れや衝撃を分散しドライバーの疲れを軽減するロングドライブにも適したコンフォートモデル。座面の高さについてもMOタイプのシートレールと組み合わせ、純正に対して約25mmのローポジ化を実現。また、別売りでアームレストが用意され、アルトワークスでも片側1座席分の内側への装着が可能となっている。

コンパクトであるが故に室内空間が狭く、制約を受け不自然なポジションでシートが取り付けられている例も見られるK-Car。S660などの2シータースポーツなら室内空間が限られるのは分かりますが、実はアルトワークスなどの2BOX車も空間的な制約が意外と多いのだ。問題となるのは特にBピラーとシートの間隔だが、ショルダーの大きなバケットシートの装着は

非常に厳しい。しかし、ブリッドでは室内空間がタイトな車種に向けたシートもラインアップ。たとえば、HA36Sアルトワークスには、フルバケットシートの「XERO VS PLUS(ゼロVプラス)」、リクライニングシートであれば「DIGOⅢ LIGHT CRUZ(ディーゴⅢライツ・クルーズ)」や「STREAMS CRUZ(ストリームスクルーズ)」などが適合

する「STREAMS CRUZ」は着座位置が純正に対して約5mmダウン、MOタイプのシートレールで装着。他モデルはP67を参照。これはアルトワークスに限ったことではなく、K-Car全般で「室内空間に制約がある」と認識してシート選びを始めることが大切だろう。

さらに、アルトワークスなど2BOX形状の車両の場合、小柄な女性ユーザーでも運転に支障が出ないよう、概して座面設定が高い。そのため、バケットシートに交換する際には体型に合わせてシートポジションを下げたいと考えるのが通常だ。しかし、これも車内スペースが限られているK-Carの場合は一筋縄ではいかない。取り付けはできたとしても、ポジションが大きく左右にオフセットしてしまったりがちなのだ。

種々のフロア形状や座席スペースの測定なども行ない、シートポジションを下げながら、可能な限りハンドルセンターとのオフセットを排除する専用シートレールも開発。これによって、スポーツシートの性能を最大限に発揮できるように設計されている。

百聞は一見に如かず、ということで実際にHA36Sアルトワークスでシート交換しながら、その差を確認していこう。



タイトな室内で
最適なポジション作り!!

スポーツシートのフィッティング術

フルバケ派？
リクライニング派？
BRIDE 発売
DRIVING POSITION SETTING
取材協力：ブリッド <https://brideseat.com>
ベストマッチな
2モデルを徹底検証

EUROSTERⅡ CRUZ

室内空間に余裕がある車種には
EUROシリーズもオススメ!

ショルダー寸法が大きいため室内空間に余裕がある車種に限られるが、「EUROSTERⅡ(ユーロスターⅡクルーズ)」にも注目したい。撮影車両は1.58エンジン搭載のジムニーノマドだが、どのジムニーにも装着可能。身体を包み込み面で支え、シート内部の高密度ウレタンで体圧を分散させることで疲労軽減を図るロングドライブに最適なモデルで、こちらもオプション(別売り)のアームレストが装着可能だ。



カラー：タフレザークラッシュ/グラデーションロゴBE/ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE

価格：15万1800円(タフレザークラッシュ)/17万500円(タフレザークラッシュシートヒーター付き) 15万1800円(グラデーションロゴBE)/17万500円(グラデーションロゴBEシートヒーター付き) 14万800円(ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE)/15万9500円(ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBEシートヒーター付き)

